

議員定数研究会
議 勉 強 会

「4減」「6減」「2案提示

各区配分は3パターンは
発議へ調整急ぐ

議員定数が法定上限の新潟市議会(定数56、欠員3)で、定数削減に向けた協議が活発化してきた。議員有志でつくる「議員定数研究会」(佐藤豊美会長)は7月末に2回目の会合を開き、定数50または52とする改正案を議論のたたき台として提示、有識者にも意見を求めた。今後は区ごとの定数配分を確定させ、9月定例会に議員発議で条例改正案を提出する予定。来春の改選で新定数を適用しよつと、急ピッチで準備を進めている。

議員定数の削減案 (人)

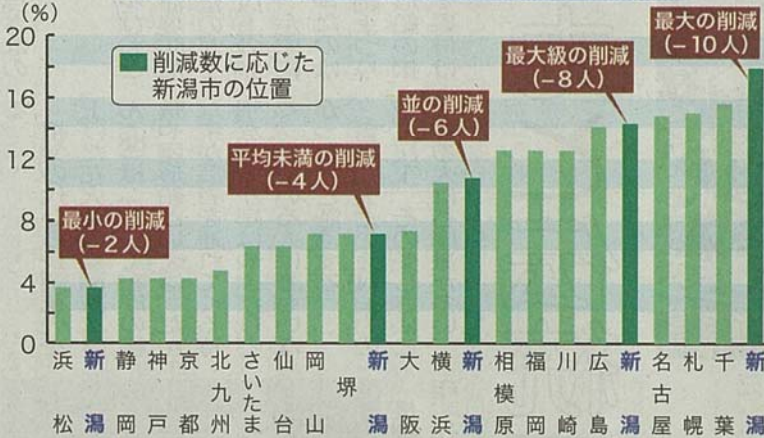
	現 行	パターン①	パターン②	パターン③
北 区	6	5	5	5
東 区	10	9	8	8
中央区	12	11	11	10
江南区	5	5	4	5
秋葉区	5	5	5	5
南 区	3	3	3	3
西 区	11	10	10	10
西蒲区	4	4	4	4
合 計	56	52	50	50

全国19政令市のうち、定数を法定上限として削減しているのは新潟市だけ。研究、江南区で割り振り研究会は、県議会の定数が異なる3パターン53を上回っている点や、全国の自治体で削減が流れになっていることを踏まえ、保守系の議員有志らで6月末に発足した。第2回会合では、全体

で定数を4または6減らす改正案を提示。東、中央、江南区で割り振り数異なる3パターンで、いずれの案でも秋葉、南、西蒲の3区を現行通りとした。表参照。会長の佐藤市議は「人口の多いところを集中的に削減した県議会のやり方が参考になる。ぜひ取り入

「減らしたい」と意気込みを語った。また、原敏明(事業創造大学院大学副学長)、北村泰作(新潟商工会議所副会長)、水間秀一(新潟経済同友会専務理事)の3氏を招き、議員の定数や活動に対する意見を聞いた。原氏は自作のグラフを

政令市の議員定数削減率



提示し、全国の政令市内での位置付けを紹介。グラフ参照。『半分近くの政令市が議員1人に対し人口2万人超の割合。新潟で同様であれば40人

になるが、それは厳しすぎると思う。マイナス6か8が妥当ではないか」と話した。

水間、北村両氏は削減人数などへの言及は避けしたが、「議員活動が外から見えにくく、これだけの数を張り付ける必要性を市民が判断する機会が少ない」「削減後の地域への目配りも大事だ」とそれぞれ述べた。

参加した議員からは「少数精鋭にし、優秀な人材が議会に集まるようにしたい」といった声が上がっていた。議員定数や各区への配分を今後の会合で一本化し、早ければ27日の議会運営委員会にも条例改正案を諮る予定だ。

人材が議会に集まるようにしたい」といった声が上がっていた。議員定数や各区への配分を今後の会合で一本化し、早ければ27日の議会運営委員会にも条例改正案を諮る予定だ。